

環境衛生担当者ブロック会への情報提供

<ノロウイルス浴槽（水系）感染について>

平成25年3月12日 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 通知

『高齢者介護施設における感染対策マニュアル』 53P

ノロウイルスは、場合によっては、井戸水、入浴中に排便してしまったときの浴槽水によっても感染が起こることがあります。

福山市ノロウイルス対応マニュアル(施設編・家庭編)

「2-(6)入浴時の感染防止対策及び浴槽の管理」より抜粋

◆ノロウイルスに汚染された**浴槽水が感染経路**となることがあります。

◆浴槽水の管理

④浴槽水の遊離残留塩素濃度は**0.2~1.0ppmに保つこと**

(広島県公衆浴場法施行条例で定められた基準)

※入浴者が多い場合、あるいは温泉水や入浴剤を使用する場合、塩素がより多く消費され、消毒効果が低下するので塩素濃度の管理に注意すること

対レジオネラ
ノロウイルスの殺菌には200ppm以上必要
人体への影響を考えると、浴槽水中のノロウイルス塩素殺菌管理は事実上不可能(1000倍の塩素濃度)

高齢者介護施設における
感染対策マニュアル

平成25年3月

ノロウイルス
対応マニュアル

(施設編)

福山市保健所

2-(6) 入浴時の感染防止対策及び浴槽の管理

<浴槽・浴槽水への二次感染の防止>

ノロウイルスに汚染された浴槽水が感染経路となることがあります。また、タオル等の身体に着用する物品を共有することにより感染が拡大することもあります。入浴時の感染防止のため、浴槽水やタオル等の管理を適切に行うことが重要です。

<基本事項>

■浴槽水の取換

- ・下流、放水時の水が逆流しないよう注意し、できる限り排水しましょう。
- ・浴槽水が汚染された場合は、排水後、浴槽水を交換し、塩素を添加して消毒してください。
- タオル等の共有を避ける
- ・タオル等を共有することは二次感染の原因となるので避けましょう。

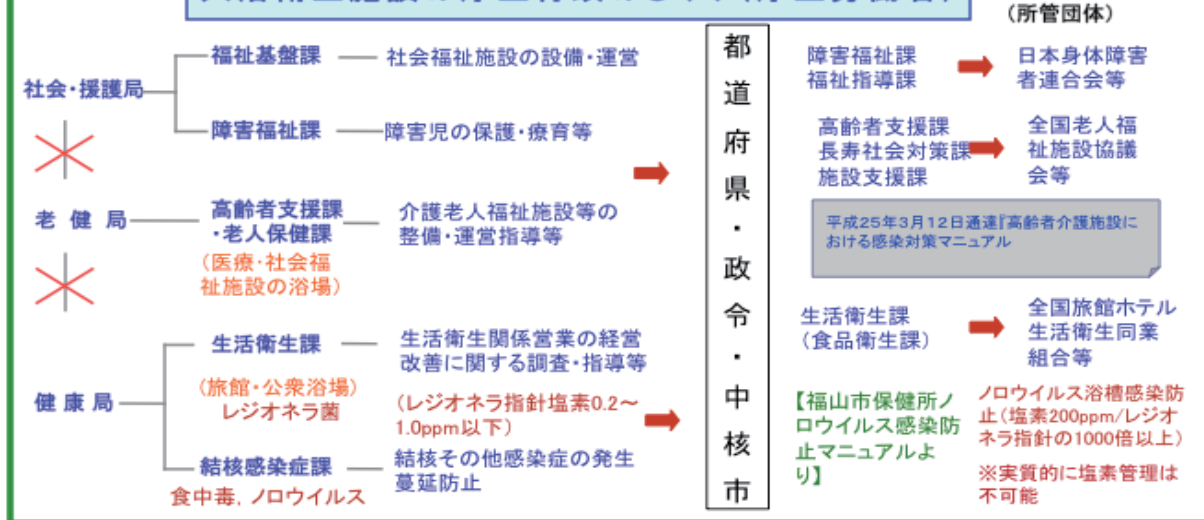
【浴槽水の塩素濃度について】

日常的に、浴槽水は塩素濃度を調整して衛生を確保することが必要です。この場合、浴槽水の塩素濃度(遊離残留塩素濃度)は、**0.2ppm以上1.0ppm以下**を保つよう心がけてください。

しかし、この塩素濃度では、一部細菌やウイルスに対する消毒効果はありますが、**ノロウイルスに対する消毒効果は期待できません。**

また、浴槽水をノロウイルスの殺菌に有効に殺菌するには**200ppm以上1000ppm以下**の塩素濃度を必要としますが、この濃度は浴槽水の塩素濃度を大幅に超えるため、浴槽水の塩素濃度を調整することが二次感染を防止する有効な手段です。

入浴衛生施設の厚生行政のしくみ(厚生労働省)



ノロウイルス浴槽（水系）感染防止対策について

- ・ノロウイルスの浴槽感染や塩素系薬剤への菌の耐性化また、温泉等の泉質対して、事業者の殺菌方法の選択権拡大の必要性。
- ・殺菌方法に合わせ、科学的根拠に基づいた運用方法の必要性

完オゾシステムについて

完オゾシステムろ過タンク内部

- ◆人体へ影響ないオゾン濃度での浴槽水中のノロウイルス殺菌可能
- ◆配管、ろ過機内へのバイオフィーム付着やレジオネラ菌等の薬剤耐性化防ぐ
- ◆水の浄化作用（有機物を分解）により長期換水可能（3ヶ月換水で飲料水レベルの水質維持）
- ◆低濃度オゾン発生装置使用また、余剰オゾンは熱処理で酸素にして屋外へ放出のため安全



10年～20年濾材入換え無しでバイオフィーム付着なく、タンク、配管内も清浄な状態確認

【ノロウイルス浴槽（水系）感染防止、経済産業省省エネ補助金活用における問題点】

老健局からのノロウイルスの水系感染マニュアル通知については、健康局都道府県及び地域保健所のご担当者へ縦割りの関係で伝わって無いケースがあります。

その為、「レジオネラ指針塩素0,02ppm～0,04,最大1ppmを越え無い」の義務により、浴槽からノロウイルス感染事故が発生した場合、自治体の瑕疵責任についての責任問題があります。

また、原発再稼働・エネルギー及び原油高騰による電気料金等社会問題化の中で、経産省が平成24年度から省エネ補助金の対象として完オゾシステムが補助金対象となりました。

しかし、完オゾ導入施設の換水が都道府県＜新潟14日、厚労省指針7日、東京都1日＞により異なるケースがあります。＜条例化により換水義務が生じる＞

同じ水道水を使用して完オゾシステムの申請をした場合、新潟県と東京都の事業者の換水省エネ比率が14対1になり、東京都申請の場合省エネ補助金が適用出来ないケースが考えられます。

＜補助金適正化法 <http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S30/S30HO179.html>>

・東京ディズニーシー内「ホテルミラコスタ」でノロウイルス集団感染 食中毒ではない？

＜<http://n-seikei.jp/2014/05/post-21815.html> >[2014年5月9日]

・News Release アカパス特許登録（岩手県公衆浴場条例参考）

＜<http://kanozo.jp/h26.5.27akapass-news-iwate.pdf>>

経済産業省省エネ補助金

エネルギー使用合理化事業者支援事業

＜対象＞

- ・法人格を有する団体
 - ・既存の塩素ろ過機から完オゾろ過装置へ入換えまたは、完オゾシステム後付で、事業前、後で既定の省エネ効果を達成することで、事業費の1/3の補助
- ※換水期間延長による省エネ効果達成が不可欠

＜事例紹介＞殺菌方法に拘ら無い岩手県条例

＜<http://kanozo.jp/h26.7.3iwate-kosoyokujyo-jyorei.pdf>>

3条(13) 浴槽の湯水は、入浴に十分な量とし、かつ、汚濁しないようにすること。

(19) 循環ろ過装置を設置している設備には、その循環経路内の毛髪その他これに類するものを除去する装置を設置すること。

(20) 循環ろ過装置は、1週間に1回以上消毒及び汚れの排出を行うこと。

NPO 完全オゾン処理型循環ろ過機安全推進協議会

〒780-0833 高知市南はりまや町 2-5-19 事務局長：川竹 大輔

TEL 088-885-0670 FAX 088-883-6653 担当：元久 敦雄

mail : kanozo@terao-kochi.co.jp HP : <http://www.kanozo.jp/>